

2014年度 日本臨床検査医学会 第1回 理事会（新理事）議事録

日時：2014年3月29日（土）14：20～15：10

場所：学士会館 2F 202 号室 東京都千代田区神田錦町 3-28（〒101-8459）

出席：村田 満理事長、前川真人副理事長、山田俊幸総務理事、諏訪部章会計理事、米山彰子庶務理事
安東由喜雄、佐守友博、北島 勲、藤田清貴、東條尚子、野島孝之、清水 力、賀来満夫、本田孝行、
清島 満、杉浦哲朗、康 東天 各理事
高木 康、尾崎由基男 各監事（19名）

欠席：小柴賢洋、横田浩充、一山 智 各理事（3名）

会に先立ち、村田満理事長の挨拶があり、東條尚子 理事、清水力理事を議事録署名人に定めた。
そして、各理事、監事より挨拶があり、理事会議事を進めた。

I 報告事項

1. 2015年度からの名誉会員、功労会員、新評議員の推薦依頼について（村田 満 理事長）

名誉会員、功労会員、評議員の資格要件の細則、各支部の名誉会員、功労会員該当者が提示され、名誉会員、功労会員については、本人の承諾を得たうえで9月19日までに各支部から推薦することとなった。

また、評議員については、支部正会員の10%の評議員候補者定員数が示され、都道府県別、所属機関別に偏らないよう検討のうえ、9月19日までに推薦することとなった。

2. 第64回（2017年）学術集会長の推薦依頼について（村田 満 理事長）

第64回（2017年）学術集会長について、当年は、村上正巳教授（群馬大学）が会長として京都でWASPaLMが開催予定であるため、第64回学術集会と同時開催としたいこと、そして学術集会長についても、関東・甲信越支部からの選出として、村上正巳教授を推薦し、担当いただくことが提案され、その方向で同意が得られた。

3. 認定試験日程等について

1) 第31回臨床検査専門医認定試験（村田満 理事長）

2014年8月2日～3日（土～日）、東京大学医学部にて実施すること、試験要領は、臨床病理1月号、ホームページに公開している。

2) 第6回臨床検査管理医講習・認定試験について（東條尚子 実行委員長）

2014年9月21日（日）、東京医科歯科大学で実施すること、試験要領は5月にホームページに掲載して、臨床病理5月号に掲載する予定である。講師として、臨床検査医学総論：山田俊幸先生（自治医大）、精度管理：三宅一徳先生（順天堂大）、衛生検査所関連：木村聡先生（昭和大学横浜市北部病院）に依頼する。

4. その他

1) 支部活動費、第61・62回学術集会補助金、専門医認定試験費用送金について（村田 満 理事長）

- ・支部活動費（一律20万円+支部会員数×500円）を送金する。2013年度の支部会計報告の提出を依頼した。
- ・第61回学術集会に400万円と1200万円、第62回学術集会に100万円を補助金として送金する。
第62回学術集会の送金口座開設を依頼した。
- ・臨床検査専門医認定試験費用送金200万円を試験実行委員会に送金する。

II 審議事項

1. 副理事長、常任理事の選任について（村田 満 理事長）

選挙理事より副理事長の指名、そして常任理事の総務理事、会計理事、庶務理事が提示され、承認された。

2. 理事の担当について（村田 満 理事長）

2014・2015年度理事の担当ならびに担当委員会が提案され、承認された。

3. 2014・2015年度各種委員会および委員長について（村田 満 理事長）

2014・2015年度各種委員会と委員長が提示され、ガイドライン作成委員会委員長は交代することとなり、その他については承認された。

4. 当会から関連団体への推薦について（村田 満 理事長）

常任理事交代により日本医学会、臨床検査振興協議会、WASPaLM、日臨技未来構想策定に関する委員会の委員交代、JCCLS 理事、医療関連サービス振興会の衛生検査所専門部会の推薦委員が提示され、承認された。

5. 研修プログラム最終案について（村田 満 理事長、北島勲 担当理事、山田俊幸 委員長）

2013年12月14日の理事会と、理事会後に専門の理事による確認での指摘により教育委員会で再検討した研修プログラム最終案が提示された。各論の理解や実践という文言を到達目標が分かるような表現としたほうがよいとの指摘があり、再度、教育委員会で検討することとなった。

6. 臨床検査専門医制度認定更新規定の一部改定について（村田 満 理事長）

臨床検査専門医・管理医審議会において、専門医更新単位の関連団体として、要望のあった日本臨床生理学会、当会のサブスペシャリティー学会として承認した日本人類遺伝学会、日本臨床細胞学会、日本人間ドック学会、日本総合健診医学会を含むべきとなり、それを盛り込んだ専門医認定更新規定が提示され承認された。

7. 広告募集業務委託先の変更について（村田 満 理事長）

これまで、臨床病理誌に掲載する広告募集業務を大矢商会と東広社に委託していたが、3月で大矢商会は廃業(倒産)、東広社は諸事情により営業を終了することとなった。そのため、新たに福田商店広告部と日本興業社・メディカルソリューション部の2社と、別途、学術広告社の合計3社に業務委託する提案があった。これについて、理事より広告代理店を通さずに直接広告募集することが可能ではないかとの意見があったが、いろいろな手間があり難しいとのことであり、3社に委託することは承認された。

なお、大矢商会については、1、2月号の広告料の支払いが問題になっているが、2月号の広告料は通常の当会80%、委託会社20%の割合で支払いがされる見込みであるが、1月号については割合弁済になり、どの程度の割合で支払いがあるかは、4月2日の債権者集会に参加してみないと分からないところであること、東広社は、3月に営業終了しても、5月までは経理を残し最後まで支払いを行うとのことである。

8. その他

評議員再任必須条件の社員総会出席回数について（村田 満 理事長、米山彰子担当理事）

定時社員総会で懸案事項となった評議員再任必須条件の社員総会出席回数の運用について、法の不遑及により2014年1月1日付での新規評議員と再任評議員は5年後の再任時に2回、そして2015年1月1日付での新規評議員と再任評議員は5年後の再任時に3回を適用するか、それとも、何れも3回で統一するかについて協議され、多数決の結果、法の不遑及に従うこととなった。

2014年度理事会日程（村田 満 理事長）

第2回～第4回の理事会の予定が下記の通り報告された。


第2回：7月 5日（土）正午、第3回：10月18日（土）正午、第4回：12月27日（土）正午（予定）

V 閉会の挨拶（前川真人 副理事長）

前川真人副理事長より閉会の言葉があり本理事会は閉会された。

以上

議事録署名人

東條 尚子 

清水 力 